

令和3年度(2021年度)

管理事業名	地域環境衛生事業			総合計画の体系	大綱 5 環境 政策 1 環境先進都市のまちづくり 施策 3 安全で健康な生活環境の保全と自然共生の推進
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費 (目) 2 環境衛生費
部局名	環境部	予算執行所属	環境政策室		
予算大事業名 地域環境衛生事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)衛生費(項)保健衛生費(目)やすらぎ苑費 地域環境衛生事業 (款)衛生費(項)保健衛生費(目)葬儀費 地域環境衛生事業				
事業の目的と概要 【目的】地域を衛生的に保つ事業を通じ、安全で健康かつ快適な生活を営むことができる良好な環境を保つことを目的としています。 【概要】・衛生害虫等駆除事業(公共施設で発生した不快害虫や衛生害虫の駆除を行う) ・市有墓地管理事業(市有墓地の使用許可等墓籍管理、光熱水費の負担、除草剪定、修繕整備工事等施設の維持管理) ・やすらぎ苑管理事業(棺の受入、火葬及び収骨等の火葬に係る業務を行う事業及び環境部事業課から搬入される死獣及び医療に伴う排出物を焼却炉等にて焼却する。また、火葬場であるやすらぎ苑の火葬業務を円滑に行えるよう、施設管理を行う)					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
火葬件数	件	3,174	3,452	3,751	各年度内に執行した火葬の件数
害虫駆除散布箇所数	箇所	776	737	516	薬剤散布箇所数
成果の説明	火葬件数は年度によって変動することから、令和3年度は令和2年度より299件(8.7%)増加しています。河川等におけるユスリカ等の発生抑制や、公共施設における毛虫等の被害に応じた駆除のために薬剤散布を行っております。令和3年度は、委託料の単価が上昇したため、散布場所を検討し重点的に作業を行ったことから、結果的に薬剤散布箇所数は減少しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	47,233	40,885	46,012	5,128
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	110	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	8,741	8,741
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	6,264	82	18,643	18,560
経常収入 小計(a)	53,606	40,967	73,396	32,429
経常費用				
給与関係費	48,190	12,979	32,569	19,590
物件費	85,666	83,177	83,369	192
維持補修費	47,298	46,822	54,022	7,199
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	973	-	-	-
特別会計への繰入金	-	-	-	-
減価償却費	31,349	31,349	31,349	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	3,814	1,117	2,434	1,316
退職手当引当金繰入額	700	△24,325	15,832	40,157
支払利息	1,416	1,138	857	△281
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	219,406	152,259	220,432	68,173
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△165,800	△111,292	△147,036	△35,744
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△165,800	△111,292	△147,036	△35,744
一般財源充当額	159,997	131,404	124,177	△7,227
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△5,803	20,112	△22,858	△42,971

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
経常収入 寄附金	ふるさと寄附金(指定寄附)8,741千円(8,741千円の増)
経常収入 その他	雑入(残骨灰の有価物売却金)18,597千円(18,597千円の増)
経常費用 給与関係費	給料15,421千円(8,830千円の増)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	53,606	40,920	73,443	32,523
行政サービス活動支出	190,530	148,973	173,988	25,015
行政サービス活動収支差額	△136,923	△108,053	△100,545	7,508
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	23,073	23,351	23,633	281
財務活動収支差額	△23,073	△23,351	△23,633	△281
収支差額 合計	△159,997	△131,404	△124,177	7,227
一般財源充当額	159,997	131,404	124,177	△7,227
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入)雑入(残骨灰の有価物売却金)18,597千円(18,597千円の増) (行政サービス活動支出)給料15,421千円(8,830千円の増)
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	令和元年度	373,978 人	587 円	市民1人当たり582円のコストがかかっています。(令和4年3月31日現在の人口)
	令和2年度	376,944 人	404 円	
	令和3年度	378,781 人	582 円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	
	令和3年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	-	-	-	流動負債		24,750	26,351	1,601
	未収金	74	-	△74	地方債		23,633	23,917	285
	財政調整基金	-	-	-	短期借入金		-	-	-
	短期貸付金	-	-	-	賞与引当金		1,117	2,434	1,316
	徴収不能引当金	△27	-	27	未払金		-	-	-
	その他流動資産	-	-	-	リース債務		-	-	-
固定資産	事業用資産				その他流動負債		-	-	-
	有形固定資産	3,840,952	3,809,603	△31,349	固定負債		58,146	48,007	△10,139
	土地	2,860,855	2,860,855	-	地方債		47,567	23,650	△23,917
	建物・工作物	980,097	948,747	△31,349	長期借入金		-	-	-
	リース資産	-	-	-	退職手当引当金		10,579	24,358	13,778
	建設仮勘定	-	-	-	リース債務		-	-	-
	無形固定資産	76	76	-	その他固定負債		-	-	-
	インフラ資産				負債の部合計		82,897	74,359	△8,538
	有形固定資産	-	-	-	純資産		3,758,178	3,735,320	△22,858
	土地	-	-	-					
建物・工作物	-	-	-	純資産の部合計		3,758,178	3,735,320	△22,858	
建設仮勘定	-	-	-	負債及び純資産の部合計		3,841,074	3,809,678	△31,396	
重要物品	-	-	-						
図書館資料	-	-	-						
投資その他の資産	-	-	-						
出資金	-	-	-						
長期貸付金	-	-	-						
基金	-	-	-						
徴収不能引当金	-	-	-						
その他債権	-	-	-						
資産の部合計	3,841,074	3,809,678	△31,396						

Ⅲ 財務構造分析

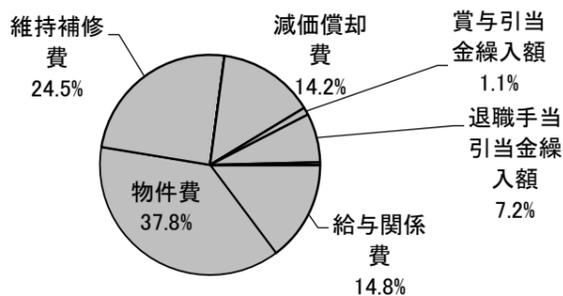
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	合計(千円)
事業従事人数	4.2人	244日	3日	50,835
給与関係費等	48,170千円	2,640千円	25千円	
内、時間外勤務手当	41千円			

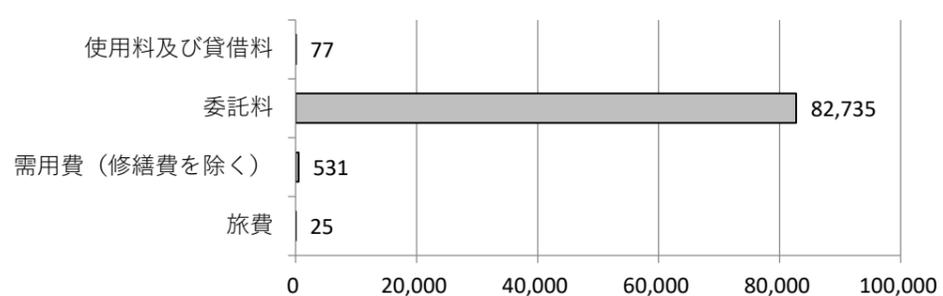
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	やすらぎ苑948,747千円 (減価償却による減31,349千円)

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名義	吹田市立やすらぎ苑
取得年月日	平成20年(2008年)12月1日
建物・工作物の取得価額	1,395,567千円
建物・工作物の減価償却累計額	446,820千円
利用料金収入	45,889千円

▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			
		令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		3.4	3.4	3.9	0.5
施設老朽化比率		27.5	29.8	32.0	2.2
受益者負担比率		21.5	26.9	20.9	△6.0
徴収不能引当率		100.0	36.5	-	△36.5
一般財源充当比率		74.9	76.3	62.8	△13.5
経常費用対公共資産比率		15.7	10.9	15.8	4.9

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、物件費83,369千円(37.8%)、維持補修費54,022千円(24.5%)、給与関係費32,569千円(14.8%)、減価償却費31,349千円(14.2%)となっています。物件費の主な内訳としては、指定管理委託料67,919千円、衛生害虫駆除委託料9,532千円です。また、使用料につきましては、吹田市使用料・手数料及び自己負担金改定に関する基本方針で、やすらぎ苑は大部分を公費負担とする施設として、受益者負担比率が低くなっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

火葬場の施設管理運営については一定の経費がかかりますが、その大半は公費から支出されています。そこで、一体的で効率的な施設管理運営を目的として平成30年4月から指定管理者制度を導入しました。制度を導入することにより、民間のより専門的な知識や技術を活かして市民サービスの向上を図ることができました。現在の指定管理者は令和5年3月末までのため、令和4年度に公募を行い、新しい指定管理者を選定します。なお、火葬炉については定期的に保守点検を実施していますが、炉本体の損傷による火葬炉使用停止は、市民生活に多大な影響を与えることから、今後も継続して日常の設備点検を充実していく必要があります。